

図書館からのお知らせ

*図書館講座

「安全なお米とお味噌で健康に」
安全な稲づくり、安心な食について考えます。

日時：12月8日(日)午後1時30分
～午後3時30分

場所：トレーニングセンター
ふるさと大ホール

講師：自然耕塾@高山村代表
園原久仁彦さん

*クリスマスの「おはなしの会こぐま」

クレヨンママによる楽しいおはなし会を開きます。

日時：12月19日(木)

午前10時30分～

場所：トレーニングセンター
めばえの部屋

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK NO.44

編集＝山形村図書館

「信州の宝になりました」 縄文土器の展示は大にぎわい

昨年、県下の特色ある縄文土器158点が県宝指定されました。山村の遺跡から出土した5点の縄文土器も指定を受けました。それを記念して、5点を一堂に展示した「山形村県宝お披露目展」が行われました。会場になった山形村図書館には、連日、村内外から多く

の方が見学にきていました。360度見られるように展示ケースも一新し、多くの縄文土器ファンがさまざまな



度から写真を撮っていました。有孔罅付土器は模様がニコニコした顔のように見えると話題でした。12年前に下原遺跡で出土した時の様子を懐かしそうに語ってくださる方もいました。「この土器は、いつもはどこにあるの?」という質問も多く聞かれました。ふるさと伝承館の他の貴重な資料とともに、いつでも見られる環境が望まれます。

秋の図書館企画

「水彩画でブックカバーを作ろう」

秋の読書週間に先立ち、10月19日(土)、トレーニングセンターめばえの部屋で、ブックカバー作りをしました。画家の若狭宣子さんを講師に迎え、18人が楽しみました。繊維の入った丈夫な和紙に、白い鉛筆で絵や模様を描き、その上から水彩絵の具で色を付けていきます。できあがった作品は、絵のように飾ってもよし、ブックカバーにしてもよし、にじみ具合がとてもしっかり仕上がりました。



フィルムの時代を懐かしむ 「映像の歴史」展

「昨年のラジオ展は音の歴史だったから、今度は映像の歴史はどうですか?」松本市の務台秀夫さんの提供を受け、10月31日(休)～11月13日(休)、8ミリフィルムやスライド映写機などを展示しました。1950年代～70年代に家庭で親しまれた8ミリフィルムは懐かしむ人も多く、文化祭中は遠方からの見学者も多く賑わいました。サイレント(音声なし)の映画「鉄腕アトム」「ウルトラマン」と「トキキー(音声あり)」の映画「名犬ラッシー」「アルプスの少女ハイジ」も上映しました。フィルムがカタカタと回る様子を、子どもたちが興味深そうにのぞき込み、昭和の映画館を思い出すひと時でした。



おすすめ新着本紹介

0.1.2 えほん「ちいさなふね」

笠野裕一(福音館書店)



「ポンポンポン」という繰り返しのリズムが楽しい一冊です。0.1.2歳向けのシリーズが10冊入りしました。「風を切って走りたいたい!夢をかなえるバリフリー自転車」

高橋うらら(金の星社)



体の不自由な人が乗れる自転車を作ろう!40年間で2600台もの自転車を作り続けてきた堀田健一さんの挑戦を描きます。

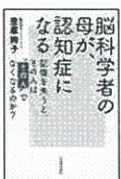
『緋色のマドンナ』



NHKの朝の連続ドラマ「スカレット」のモデル、陶芸家の神山清子さんの人生を描いた物語です。

『脳科学者の母が、認知症になる記憶を失うと、その人は「その人」でなくなるのか?』

恩蔵 絢子(河出書房新社)



アルツハイマー型認知症だと診断された母親の日常生活を、脳科学者である娘が2年半にわたって記録していきます。認知症は「その人らしさ」にどんな影響を与えるのでしょうか?